

1. 授業の概要(ねらい)

前期同様、私たちを取り巻く社会という観点に着目し、日本語の諸特徴について明らかにしていく。私たちの使うことばは、さまざまな社会的な要素(属性・地域など)と密着に関わりを持っている。社会的属性(男性・女性)はもちろんのこと、居住する地域や(引越・就職などによる)本人の社会環境の劇的な変化により使用することばも変わっていく。

本講義では、日本語の特徴をさまざまな研究分析方法を用いて探っていく。

2. 授業の到達目標

- ・日本語を客観的に考察し、説明することができる。
- ・社会と言語のかかわりについて説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

テスト(60%)・(授業時や授業時間外の)レポート(40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

講義ではプリントを配布する。

5. 準備学修の内容

講義では、レポートを課すことがある。準備学修では、その際に必要な言語事例をそろえておくことが求められる。この事例採取については、講義時に指示する。

6. その他履修上の注意事項

講義中は、私語厳禁とする。後期の授業内容は、前期の授業の発展的要素を含んでいる。そのため、前期の授業を受講していることが望ましい。

講義内で感想・現在気になっている言葉などコメントを書いてもらうことがある。

受講者多数の場合、履修制限をかけることがある。履修を希望する学生は、初回の講義に必ず出席すること。

なお、受講者数によっては、抽選が行われる可能性があることもあらかじめ述べておく。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(前期の復習と「日本語を話すこと」と「日本語について話すこと」の違いについて学ぶ。)
- 【第2回】 社会言語学とは? (「階級方言」について学ぶ。)
- 【第3回】 「階級方言」とは何か?
- 【第4回】 「階級方言」海外の事例:トラッドギル①
- 【第5回】 「階級方言」海外の事例:トラッドギル②
- 【第6回】 『マイ・フェア・レディ』と階級方言。
- 【第7回】 「階級方言」海外の事例:ラボフ①
- 【第8回】 「階級方言」海外の事例:ラボフ②
- 【第9回】 「階級方言」:日本の事例。
- 【第10回】 「役割語」とは何か?:マンガやアニメにあふれる役割語について学ぶ。
- 【第11回】 「役割語」とは何か?:小説やドラマにあふれる役割語について学ぶ。
- 【第12回】 「医療現場と方言」について学ぶ。
- 【第13回】 テスト①と解説。
- 【第14回】 テスト②と解説。
- 【第15回】 LMS授業:到達目標の確認を行う。また、社会の中の日本語について学ぶ。